

オルガン ¥500コンサート

クリスマス★コンサート 三上郁代

12/3^土

14:00 開演 (13:15 開場) *15:00 終演予定

* 静岡音楽館倶楽部会員割引はありません。
* このコンサートは休館がありません。

全自由
¥500
(全席前向き)

AOIが誇るパイプオルガンの調べを
500円で体感できる!!

出演

三上郁代(オルガン)

曲目

M.ムソルグスキー：《展覧会の絵》より「プロムナード」
G.F.ヘンデル：《もろびとこぞりて》による変奏曲 (J.W.ジョーンズ 編)
J.S.バッハ：主よ人の望みの喜びよ (BWV147) (M.デュリュフレ 編)
L.アンダーソン：そりすべり (T.トロッター 編)
A.ヴィヴァルディ：協奏曲集《四季》より「冬」RV.297 第2楽章
C-B.バルバトル：小さな天使
A.ホリンズ：クリスマスの子守歌
J.S.バッハ：目覚めよと呼ぶ声あり BWV 645
Ch-M.ヴィドール：夜警の行進
A.アダン：O Holy Night (さやかに星はきらめき)
L.J.A.ルフェビュール＝ヴェリー：退場曲

毎年、完売必至の公演です。

まだ、AOIのオルガンを聴いたことがないかたも、

夏休みコンサートを聴いて

もっと聴きたくなったかたも、ぜひ



新型コロナウイルス感染症対策について 静岡音楽館AOIからのお願い

静岡音楽館AOIでは新型コロナウイルス感染症について静岡市等関係機関からの最新の情報の収集に努めるとともに、感染予防・拡大防止に細心の注意を払い対策を講じてまいります。お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご来館に際しまして、お客様へ次のとおりお願い申し上げます。

以下の事項に該当する方は、来館の自粛をお願いいたします。

- 37.5℃以上の発熱または平熱比1度を超過されている方。
- 呼吸困難や強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方。
- 同居ご家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方。
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。

マスクの着用にご協力ください。(マスクを着用でない方は入館をご遠慮いただく場合がございます。)
社会的距離の確保(最低1mを目安)をお願いいたします。
こまめな手洗い、手指消毒をお願いします。
マスク、ハンカチ、ティッシュ、上着の内側や袖などで口をしっかりと覆う「咳エチケット」にご協力ください。

【静岡音楽館AOIの取組】

消毒液をロビー等に設置しています。

館内は消毒液を使用した清掃を行うとともに、換気に努めています。

ホールの座席等は抗菌・抗ウイルスコーティングを施工しました。

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、2022年度をもって退会をご希望のかたは、2023年2月末までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員 (2022年8月末現在) 50名

- (株)アイテレック
- (株)タミヤ
- (株)SBSプロモーション
- (株)メディア・ミックス静岡
- かわした歯科クリニック
- (株)シェアール東海ホテルズ
- ホテルアソシア静岡

コンサートシリーズ2022-23

主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

協 賛 アイワグループ



次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。



託児サービス

要事前予約(2週間前まで)・託児料：1人1,000円
対象：生後6ヶ月～小学生
申込：静岡音楽館AOI
TEL.054-251-2200(月休)
申込時に、保護者氏名、お子様の氏名、年齢、性別をお伝えください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

至 浜松

至 東京

●静岡市美術館

●松坂屋

至 浜松

至 東京

●バリエエ JRF静岡駅

●ホテルアソシア静岡

●ホテル グランビルズ静岡

CONCERT HALL SHIZUOKA

静岡音楽館 AOI

月曜日休館 (ただし祝日開館、翌平日休館) 9:00～21:30開館

〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

お 問 合 せ

054-251-2200

AOI 検索

QRコード

森麻季

インタビュー

12月にAOIに登場する森麻季さん。

AOIでのリサイタルは3度目です。

今回はパイプオルガンとの共演でお届けします。

クリスマスが近いことからクリスマスにちなんだ作品も

演奏していただきます。

また、共演の鈴木優人さんは作曲家、指揮者など

幅広く活躍されています。

今回はオルガニストとしての出演です。

AOIに何度もご出演くださりありがとうございます。前は2019年5月でした。AOIについて印象やリサイタル時のエピソードなど、覚えていることがありましたら教えてください。

いつも格調高いプログラムを揃えて、ご来場くださるお客様も音楽への見識が高いホールだと感じております。ホールの大きさや響きが歌曲や宗教曲を歌うのにもとても適していて、繊細な音楽、*pp*に至るまでお客様と共有できる素晴らしいホールです。

今回はピアノではなくパイプオルガンとの共演で歌ってくださいます。どんなところにオルガンの魅力を感じますか。

オルガンとピアノには鍵盤があり、鍵盤楽器で似ているのでは？と思われるかもしれませんが、ピアノは鍵盤を押すと連動するハンマーが対応する弦を叩き音が出る、弦のある「打楽器」で、鍵盤のタッチ(弾き方)によって*pp*から*ff*まで音量をコントロールできます。また、音はペダルである程度伸ばすことはできますが、基本的には鍵盤を弾いた途端に減衰していきます。オルガンの方は鍵盤を押すと、連動するパイプに空気を送ることで音が出る「管楽器」です。音の強弱をピアノの様に鍵盤のタッチだけでコントロールすることはできませんが、たくさんの音を変える装置が備えられていて、その組み合わせによって音色や音の強さ、雰囲気もガラリと変えられます。

ピアノはピアノの音以外出すことはできませんが、パイプオルガンは様々な表情や音の高さ、音の強さを出すことができるすごい楽器です！そしてホールの一面に備えられているほどの大きさですので、たくさんのパイプからどんな音が出るのか、また、音が重なって重厚感や荘厳な雰囲気を味わうこともできると思います。当日は優人さんのソロ曲で演奏される時の音量や音質と、私の伴奏で弾いてくださる時の音の選び方などにも注目して聴いてくださるとパイプオルガンをますます楽しめるかもしれません。

今回はクリスマスにちなんだ曲を演奏していただきますが、クリスマスの思い出を教えてください。

去年はN響の第九とBCJ(バッハ・コレギウム・ジャパン)のメサイアのソロで歌わせて頂けて、音楽に溢れたクリスマスシーズンとなりました。

森麻季(ソプラノ)

© Yuji Hori

私はイルミネーションが大好きなので子供たちと家にツリーを飾ってケーキを食べたり、街がイルミネーションに彩られるのを見るのも大好きです。

今回のプログラムについて、聴きどころを教えてください。

バッハの作品の中でも有名な《主よ、人の望みの喜びよ》や3人の違う作曲家による〈アヴェ・マリア〉、クリスマスならではのメサイアのアリアや《O holy night》《きよしこの夜》など、美しいオルガンの調べに乗せて、宗教曲などはヴィブラートをコントロールした透明感のある音色もお楽しみ頂ければと存じます。

共演の鈴木優人さんをご紹介します。

優人さんは私をご紹介するまでもないほど有名でいらっしゃると思いますが、指揮者、作曲家、ピアニスト、チェンバリスト、オルガニストとして日本のみならず世界を駆け巡り活動され、オペラなどのプロデュースもされたり、幅広い音楽分野で活動され、お話しも素晴らしいのでテレビ出演なども多く、ますます人気も高まるばかりのご活躍をされています。お父様も著名な指揮者でチェンバリスト、オルガニストでもある鈴木雅明氏で、私自身はBCJの《ボッペアの戴冠》で、お父様と優人さん指揮の両方でボッペアを歌わせて頂いたことがあります。ずっとお父様と共に声楽曲を演奏されていたこともあり(さらにお母様はBCJのメンバーとしてもお歌いになられている歌手ですし！)オペラ指揮者としてもますますのご活躍を期待しております。

未だコロナウイルス感染症は収まる気配がありません。最近ではだいぶ落ち着いたようにも思えますが、この数年、演奏会の延期や中止など、いろいろご苦労もあったことと思います。印象に残ることがありましたら教えてください。

コロナの影響で中止や延期が相次ぎ、5ヶ月くらい舞台で歌う機会が無くなり、再開した8月の公演(BCJの《マタイ受難

曲》でした)は改めてホールで歌える幸せ、お客様と共に音楽を共有できる幸せを噛み締めました。

またその後はひと公演ごとに、来てくださったお客様がコロナを心配されながらきてくださったのだから、ホールの素晴らしい響きと美しい音楽に包まれて「来て良かった」と思って頂けるように、また、演奏者と同じ空間でダイレクトに音楽を聴くことの良さを感じて頂けるように心がけています。

歌手の方は身体が楽器ということもあり、特に大変だったのではないのでしょうか。もともと、体調にはとりわけ気を遣っていらっしゃると思います。コロナ禍になってから体調管理の面で以前と変わったことがありますか。

皆さまが普段気を遣われていることと変わりはありませんが、マスクをしてワクチンを受け、公演の前には検査をしたり、外出も最低限になったと思います。

コンサートに向けて、お客様にメッセージをお願いします。

コロナ禍も3年目、ウクライナでの侵略にもまだ終わりが見えません。そういう中で日頃皆様の生活にも現状を簡単に収束することができず、肅々と対応しているうちに、ストレスや心の負担になっていることも少なくないのではと思います。

楽しい時はポップスなど軽快な音楽で盛り上がるのも良いけれど、悲しい時や心に負担が募った時にはクラシックの、特にハーモニーや音色の美しいものが心を癒してくれると思います。

そういった意味でバッハの作品や今回選ばせて頂いた曲は、歌詞の内容も含めて、疲れた心に寄り添い、悲しい心を穏やかにしてくれる美しい作品ばかりです。音楽を聴きながら、心を癒し、お忙しい毎日にひと時の潤いとなれば幸いです。

ホール一面の大きなパイプオルガンと、一人の声という楽器がホールにどの様に響くのか、歌には歌詞がありますので、ドイツ語、イタリア語、ラテン語の曲の内容や作曲者が変わるとどんな変化があるのかもお楽しみください！

鈴木優人(オルガン)

© Marco Borggreve

クリスマス★コンサート

森麻季&鈴木優人
デュオ・リサイタル

12/10 土

22歳以下
¥1,000

残券僅少

15:00 開演 (14:15 開場)
全指定 ¥5,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥4,500)

曲 目

J.S. バッハ：プレリュードとフーガト長調 BWV541 (オルガン・ソロ)
カンタータ第147番《心と口と行いと命もて》BWV147 より〈主よ、人の望みの喜びよ〉
あなたがそばにいれば (《アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帖》より)
J.S. バッハ / C. グノー：アヴェ・マリア (BWV846)
J. ブラームス：11のコーラル前奏曲 op.122 より〈装いせよ、おお愛する魂よ〉オルガン・ソロ
F. シューベルト：アヴェ・マリア op.52-6, D.839
P. マスカーニ：アヴェ・マリア
G.F. ヘンデル：調子のよい鍛冶屋 HWV.430 (オルガン・ソロ)
《メサイア》HWV.56 より〈リジョイス〉
(わたしは知る、わたしをあがなう者は生きておられる)
J.S. バッハ：バストラレーレ へ長調 BWV590 (オルガン・ソロ)
A. アダン：オー・ホーリー・ナイト
F.X. グルーバー：きよしこの夜

1月にAOIに初登場するディオティマ弦楽四重奏団。
もともと2020年に9月に実施する予定でしたが、
新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず中止となりました。
このたび、ようやく実施の運びとなりました。
そんな彼らからメッセージが届きました。

弦楽四重奏曲の歴史は長く延びる道です。傑作があちこちに転がっています。

静岡音楽館AOIの公演では、私たちディオティマ弦楽四重奏団が実践してきていること、そのエッセンスをお届け出来ることとなり光栄に思っています。すなわち、聴衆に古くからのレパートリーに加えて新しいレパートリーもお聴きいただく、というものです。

忘れてはいけないのは、現代の若きスウェーデンの女性作曲家リサ・シュトライヒが本コンサートのために新しい弦楽四重奏曲を書いた、ということです。リサ・シュトライヒにとって弦楽四重奏とは「鳥」の象徴なのだそうです。自由に飛翔し、軽々と国境を越えていく鳥。世界が停滞した現代において、この「鳥」というアイデアは奇妙であり興味深いものです。加えてこの新曲はフーガなのです。世紀をまたがり飛び続ける鳥という斬新なアイデアを手に、21世紀に現れた若いスウェーデンの少女は、フーガによって過去の音楽に向かい証言します。

この証言は弦楽四重奏というジャンルを象徴するものでしょう。弦楽四重奏とは、18世紀より世紀を越えて変容しながらも書き継がれ、語法の移り変わりにも耐えて再創造され書き継がれてきた音楽の最上の分野なのです。

素晴らしいプログラムでのコンサートの機会を私達に与えてくださったのみならず、リサ・シュトライヒに新曲を委嘱しレパートリーの開拓をしていただいた静岡音楽館AOIに感謝を申し上げます。

© lyodoh kaneko



Quatuor Diotima

ディオティマ弦楽四重奏団

2023

1/14 土

22歳以下
¥1,000

15:00 開演 (14:15 開場)
全指定 ¥4,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,600)

曲 目

A.ツェムリンスキー：弦楽四重奏曲第1番 イ長調 op.4
L.シュトライヒ：星空の静けさ (2020年度静岡音楽館AOI委嘱作品・世界初演)
J.ブラームス：弦楽四重奏曲第2番 イ短調 op.51-2

出 演

ディオティマ弦楽四重奏団

ユン・ベン・チャオ (第1ヴァイオリン)
レオ・マリリエ (第2ヴァイオリン)
フランク・シュヴァリエ (ヴィオラ)
ビエール・モルレ (チェロ)

講演会 作曲家の視点から

1/14 (土) 13:00~14:30

お話：L.シュトライヒ (作曲家)、
野平一郎 (作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)
静岡音楽館AOI 講堂 (7階) 無料 (要申込)



A.ツェムリンスキー (1871-1942)
オーストリアの作曲家。のちにアメリカへ亡命し、活動の場を移す。ブラームスに認められ、支援を受けた。
指揮者としての評価も高かった。
主な作品に《抒情交響曲》(1923)などがある。



リサ・シュトライヒ (作曲)
© Manu Theobald

Quatuor Diotima

静岡市美術館での展覧会

「出版120周年 ピーターラビット™展」にちなみ、
ミュージアム・コンサートを開催しました。

静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

「出版120周年 ピーターラビット™展」 ミュージアム・コンサート 朗読とリコーダー四重奏で聴く ピーターラビット™

9月18日(日) 14:00 開演(13:30 開場)

会 場 静岡市美術館 多目的室

【主催】 静岡音楽館AOI 静岡市美術館
指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

【協力】 早川書房

出 演：プリエ・リコーダーアンサンブル
【桐畑奈央、柿本春香、長瀬正典、徳永隆二】
川村菜穂子(朗読・作曲)

「リコーダーアンサンブルで巡るイギリス音楽の世界〜ルネッサンスから現代まで〜」というサブタイトルで、パーセル、ヘンデルといったルネッサンスやバロック時代の作曲家からブリテンという現代の作曲家に至るまで、様々な時代のイギリス音楽をお聴きいただきました。また、リコーダーの紹介もあり、様々な大きさがあることに興味津々で魅入っていました。コンサートの最後を飾ったのは、川村菜穂子:朗読とリコーダー演奏による「ピーターラビットのおはなし」。
絵本の世界をいっそう引き立てていました。

アンケートより

●久しぶりにミュージアム・コンサートに参加しました。
企画展のイメージに合った曲が選ばれていてすばらしい
ひと時でした。

●歴史をたどっているいろいろな曲を聞くことができてよかったです。

●朗読とリコーダーと絵本のコラボも最高でした。

●ピーターのかわいらしいお話にもリコーダーが生き生きとした動きを与えてくれてとても楽しめました。

静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

3館共同事業について

「文化を意識したまちづくり」として、「第2の学校」(子どもたちの感性をぐくむ)、「静岡駅前文化ゾーン」の形成(静岡駅前のにぎわい創出)、「親しむ」(生活のなかで芸術と科学を感じることができる環境を創る)の3つのテーマを軸に、JR静岡駅前に位置する静岡音楽館、静岡科学館・く、静岡市美術館の3館が共同し、事業を展開し、静岡の文化を相乗的に向上させることを目指します。

静岡室内楽 フェスティバル 2022



プログラム

リコーダーアンサンブルで巡るイギリス音楽の世界
〜ルネッサンスから現代まで〜

ヘンリー8世：バスタイム

T.タリス：イン・ノミネ

作者不詳：プリンスエドワードのパヴァーヌ

W.バード：ファンタジア

H.パーセル：シャコンヌ

T.シンプソン：いとしのロビン

G.F.ヘンデル：水上の音楽 より

E.エルガー：愛の挨拶 op.12

イングランド民謡《スカボロー・フェア》

B.ブリテン：スケルツォ

G.ホルスト：吹奏楽のための組曲第2番 へ長調 op.28-2

川村菜穂子：朗読とリコーダー演奏による

「ピーターラビットのおはなし」

出版120周年

ピーターラビット™展



静岡市美術館

SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART

静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階
TEL.054-273-1515

9月15日(木)ー11月6日(日)

休館日／毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

■開館時間 10:00ー19:00
(展示室入場は閉館の30分前まで)

■観覧料
一般1,400(1,200)円、
大高生・70歳以上1,000(800)円、
中学生以下無料

* () 内は前売および当日に限り20名以上の団体料金

* 障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

【主催】 静岡市、静岡市美術館
指定管理者(公財)静岡市文化振興財団
ほか

《『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画》
ビアトリクス・ポター
1902年 ウォーン・アーカイブ/
フレデリック・ウォーン社
©Frederick Warne & Co.Ltd,2017

In association with Frederick Warne & Co.

Printed in England by the publishers Frederick Warne & Co., Ltd.
Frederick Warne & Co. is the owner of all rights, registered and trademarked by
the British Patent Office and the British
Licensing in Frederick Warne & Co. Ltd. All Rights Reserved.



静岡音楽館AOIのSNSのご紹介です。

●コンサートのウラ情報

●AOI主催公演のご案内

●AOI主催公演のチケット販売状況

など情報発信中!!



@ConcertHallShizuoka



@concerthallshizuoka



@CHS_AOI



「静岡の名手たち」で検索



●「静岡の名手たち」とは？

静岡音楽館AOIが1995年の開館からずっと継続しているオーディションで、いまでは静岡の音楽家たちにとって登竜門的な存在となっています。

いいね👍❤️をして最新情報を手に入れよう!

学芸員雑記

現代音楽とバルトーク

静岡音楽館AOI 学芸員 渡邊亜沙

静岡音楽館AOIは「現代音楽」を頻繁に聴くことができるホールだ。毎年、作曲家に新作を委嘱し、世界初演が身近にある。これは全国に約3500ある公共文化施設でも大変珍しいことで、この4月からAOIで働く身としてはとても誇らしい。

そもそも現代音楽とは何か。西洋音楽においては、20世紀に入り多くの作曲家が無調音楽、十二音技法、トーン・クラスターなど実験的な試みを行い、そうした作品を現代音楽と呼ぶ。一方、現代音楽に対する世間のイメージは「難しい」「わからない」などが多い。筆者もそう思っていたが、バルトークの作品をきっかけに現代音楽に興味、関心を持ち始めた。今回はそんなバルトークについて少し紹介したい。

ハンガリーの作曲家、ピアニスト、民俗音楽学者であるベーラ・バルトーク(Béla BARTÓK, 1881~1945年)は、青年期ピアニストとして成功する一方、作曲家としては模索していた。当時の作品、交響詩《コシュート》は後期ロマン派の作風でとてもドラマチック、その後のバルトークの作品とは程遠く、当時の模索が如実に表れている。1904年、避暑地で偶然耳にした民謡(農民音楽)をきっかけに、各国の民謡採集・研究を経て独自の語法を段階的に確立していく。作風の特徴は、モチーフとして民謡を用いるだけでなく、農民の営みを音楽で表現したことにある。民謡採集の旅では大きな蓄音機をたずさえ録音・採集したが、警戒心が強い農民に対しては、彼らの言語を習得し、一緒に暮らし、信頼関係を築いたうえで録音・採集を行った。そこで体験した音や言葉、踊り、風景、生活ぶりなど、農民の営みをさまざまな手法で表現した。例えば《戸外にて》はピアノを打楽器のように用いた作品の一つで、太鼓を鳴らすかのごとく鋭い低音から始まり、かたや夜の風景や虫の様子を不協和音や独特のリズムで見事に表現、終始パッチワークのように次々と表情を変える作品だ。晩年、バルトークはニューヨークに亡命、ハンガリーに帰ることなく白血病で亡くなった。最期は色彩豊かな作品が目立ち、特に《ピアノ協奏曲第3番》はモーツァルトのような軽やかさと輝かしさを持つ。バルトークが数小節残して亡くなった作品とは到底思えない。

現代音楽は確かに難しい。でも、その背景を知ること、「わからない」が「へえ(すこしの納得)」に変わるかもしれない。その導入としてバルトーク作品をぜひおすすめしたい。

